

青森県親の会

2015年

会の名称	青森県ことばと心を育む会					
会長	天内 幸子					
事務局長	黒石市中郷小学校 教諭 北城孝子					
事務局所在地	〒	036-0316				
	住所	青森県黒石市ぐみの木二丁目77番地				
	電話番号	0172-52-8611	FAX番号	0172-52-8611		
	メール	nakagosyo3@yahoo.co.jp				
支部数	12					
市町村数	市数	10	町数	22	村数	8
教室設置 市町村数	市	9	町	5	村	0
会費など(一人)	入会金	0円	年会費	2100円	賛助会費等	0円

親の会の活動について

会員数 133名

1 本年の活動

- ・県教育委員会への要望(11月16日)
- ・文集「輪になって」作成
- ・言語障がい児教育研究会県大会保護者部会運営
- ・全国言語障がい児をもつ親の会・難聴児を持つ親の会冊子販売

2 行政機関等に対する要望活動など

- ・県内全市に小学校の通級指導教室設置の要望
- ・中学校の通級指導教室の複数設置の要望
- ・発達障がいのある生徒のため高等学校及び特別支援学校高等部の受け入れの拡大の要望
- ・高等学校入学者選抜学力検査において、学習障がいのある生徒も受検に当たって配慮が受けられることの周知徹底の要望
- ・特別支援教育支援員をケースに応じて適切に積極的に活用することの周知徹底の要望

3 会の抱える悩みなど

- ・会員数の減少/総会・幹事会等に出て来る人を増やしたい/広報不足/いつか全国大会もできるようにしたいが、現状ではほど遠い。
- ・3年ごとの事務局の持ち回りについて再検討の動きがあるようである。①
いずれにしてもスムーズに引き継ぎ又は継続ができるようにしたい。
- ・市や県への要望をより充実して行きたい。各県ではどのような要望を出しているのか?

岩 手 県 親 の 会

2015年

会の名称	岩手県ことばを育む親の会					
会 長	主 濱 友 子					
事務局長	林 義 明					
事務局所在地	〒	020-0022				
	住 所	盛岡市大通3-8-1 桜城小学校きこえとことばの教室				
	電話番号	019-624-0457	FAX番号	019-624-0457		
	メール	ovanokai@iwate-kotoba.jp				
支部数	28支部					
市町村数	市 数	14	町 数	15	村 数	4
教室設置 市町村数	市	14	町	15	村	4
会費など(一人)	入会金	0円	年会費	900円	賛助会費等	1,500円

親の会の活動について

会員数 1,100名

1 本年の活動

- 6月13日(土) 岩手県ことばを育む親の会結成50周年記念大会・祝賀会
- 7月11日(土) 親の会 総会
- 7月25日(土)～26日(日) 親子合宿研修会サマーキャンプin磐石
- 8月22日(土) 第32回幼児期の言語教育研修講座
- 9月5日(土) リーダー研修会 すっぴんの会(1/23) 予定

2 行政機関等に対する要望活動など

今年度はおこなわない。

県では個別的な要望を受けつけない方針のようなので新体制でもあるし情報を集めながら来期に対応したい。

3 会の抱えてる悩みなど

- 市町村合併により見えなくなった未設置地区について、教室設置や巡回指導等を考えてもらえるような働きかけ。
- 会員の親の会に対する意識の向上。(校長、教育長、市町村への働きかけを含む)
- 51年目の出発として、各市町村や支部の細かな状況調査(交通費、巡回指導、幼児教室、補聴器の助成について等)を行い、県内の状況を理解できるようにしていきたい。
- 予算的に厳しい状況であり、大きな行事を隔年にする等、事業の見直しが必要である。
- 幼児教室やLD等通級指導教室の親との連携について。

(別紙様式)

平成 27 年 7 月 29 日

岩手県保健福祉部障がい保健福祉課 御中

障がい者関係団体との意見交換会について

団体・機関名 岩手県ことばを育む親の会

担当者 主演友子(会長)

連絡先電話番号 019-624-0457

FAX 番号 同上

1 意見・情報交換事項等

(1) 障がい保健福祉施策に関する意見

項 目	内 容
1 幼児のための教室設置について	「きこえ」「ことば」に不安をもつ保護者は、早期発見・早期指導を望んでおります。現在県内の12市2町に幼児教室が設置されておりますが、県内の全ての市町村に幼児教室が設置され、相談・指導が受けられる場を与えてくださるようお願いいたします。
2 各市町村・医療機関等での健診時に関わる対応について	教育相談の大半は幼児の相談です。健診時の早期発見は、早期の支援にもなります。誰でも気軽に相談でき、早期発見できるよう充実をお願いします。
3 幼稚園・保育園の先生、保健師の方々のための研修講座の充実について	幼稚園・保育園の先生方、保健師の方々を対象とした「幼児期の言語教育研修講座」を毎年開催、今年で32回を数えます。今後もしご支援をお願いしますと共に貴職から関係施設への参加の呼びかけを図るようお願いいたします。
4 特別支援教育に関わる現段階での方向性について	「岩手県特別支援教育」で示されているように、ニーズに応じた教育（一人一人の特別な教育的支援を必要とする児童生徒の教育）の更なる充実をお願いします。また、特別支援教育への関心を高めるためにも、全教職員に特別支援教育研修の義務付けをお願いします。
5 「きこえ」と「吃音」の子ども達の就労の問題について	障がい者手帳を持っていない子や、きこえ、吃音の子ども達の就労について、早い段階から情報収集と就労までの環境の充実をお願いします。
6 身体障害者手帳が交付されない軽度・中等度難聴児の補聴器購入に公費による助成について	お陰様で、24年度から助成が始まりましたが、軽度・中等度難聴児が全ての子ども達と同様に、健やかに成長し、ことばの獲得・学力の向上を進めることができるよう、今後も随時対応していただくようお願いいたします。

秋田県 親の会

2015年

会の名称	秋田県ことばを育てる親の会										
会長	梅田信彦										
事務局長	佐藤昌子										
事務局所在地	〒	016-0823									
	住所	秋田県能代市若松町2-24									
	電話番号	0185-52-0468	FAX番号	0185-52-0468							
	メール	teinan-tuukyu@shirakami.or.jp									
支部数	0										
市町村数	市数	13	町数	9	村数	3					
教室設置 市町村数	市	13	市	52	町	2	町	2	教室	村	0
会費など(一人)	入会金	0円	年会費	1200円	賛助会費等	0円					

親の会の活動について

会員数 81名

1 本年の活動

6月6日(土) 親の会総会・家族レクリエーション (於: 能代市子ども館, 59名の参加)
 12月5日(土) クリスマス会 (於: 能代市立津城南小学校)

2 行政機関等に対する要望活動など

3 会の抱えてる悩みなど

親の会への加入は、今年度も事務局校が会員総数の半分以上を占めている現状。
 県内の教室で、親の会があるのは能代地区(事務局校)だけ。3年前から事務局移動をやめた。教室行事の際に全県に呼びかけているが、なかなか他地区からの参加はない。
 それぞれの教室で親の会があればいいのだが、ない教室がほとんどである。

宮城県ことばを育てる親の会

会の名称	宮城県ことばを育てる親の会					
会長	早坂康宏					
事務局所在地	〒	987-0511				
	住所	宮城県登米市迫町沼字梅ノ木一丁目2-10				
	電話番号	0220-22-4122	FAX番号	0220-22-4122		
	メール	oyazi.s@zf6.so-net.ne.jp				
支部数	1支部(親の会に加入している地域)					
市町村数	市数	13市	町数	21町	村数	1村
教室設置市町村数	市	13市	町	15町	村	1村
会費など(1人)	入会金	団体がないのでなし	年会費	600円	補助金等	競輪補助金のみ
会員数	27名(親の会9人・他現職教員・退職教員が多い)					

1. 本年の活動

年月日	事業	場所
H27. 6.27	監査会・理事会・総会	登米市迫公民館
9.5	治療教育相談会	大崎市生涯学習センター
10.24	親子交流会	大崎市川渡
10.24	年間反省会	大崎市鳴子温泉中山平

2. 行政機関等に対する要望活動など
なし

3. 会の抱えている悩みなど

- ①宮城県では平成11年ころから言語障害・視聴覚障害・身体障害・発達障害などの障害者の会を宮城県手をつなぐ親の会・重症心身障害児を守る会・自閉症協会・肢体不自由児者父母の会・難聴児を持つ親の会に相談し合える団体としている。宮城県やその教育委員会との関わりがなく、支援もない。
- ②親の会を持つ学校(教室)が1校もない。大崎市の鳴子地区のみ親の会を組織し、一部の学校や校長が協力してくれる。
- ③親の会の会員数は少ない。多少現職教員や退職教員が会員として増え役員や事業に協力している。
- ④治療教育相談会には障害で悩んでいる子供を持つ親が声掛けによって申し込みされ、相談する人が多くなった。
- ⑤治療教育相談には言語障害だけでなく各種障害の相談が増えてきた。

福 島 県 親 の 会

2015年

会の名称	福島県ことばを育む会					
会 長	山内 宏裕					
事務局長	佐伯 英俊					
事務局所在地	〒	969-0404				
	住 所	福島県岩瀬郡鏡石町中町240番地				
	電話番号	0248-62-5359	FAX番号	0248-62-1871		
	メール	eishun@cream.plala.or.jp				
支部数	4支部					
市町村数	市 数	13市	町 数	31町	村 数	15村
教室設置 市町村数	市	7	町		村	
会費など(一人)	入会金	0円	年会費	800円	賛助会費等	円

親の会の活動について

会員数

1 本年の活動

保護者研修会 東北福祉大学教授 大西(前文科省 調査官)
 親子宿泊研修:11月7日(土)から8日(日)

2 行政機関等に対する要望活動など

県教育委員会・県福祉部に予定

3 会の抱えてる悩みなど

会員数の減少 役員及び事務局のなり手がいない
 収入源の確保

大舞台で活躍「自信に」

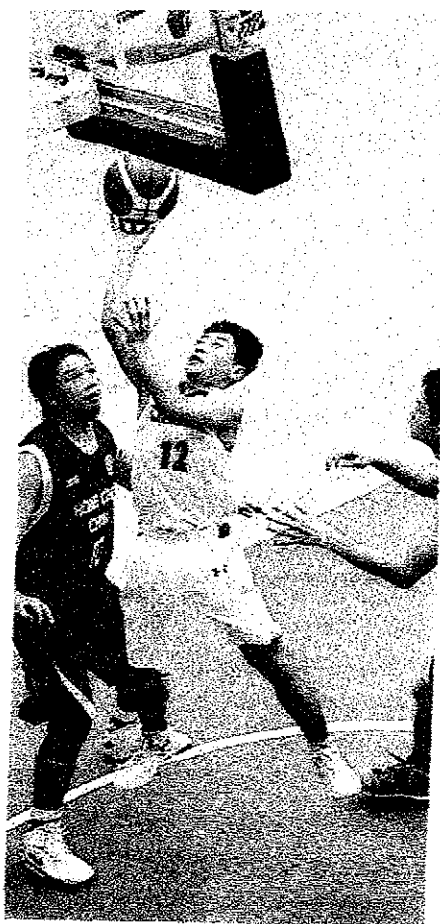


インタビューに答える越前君

郡山市の県立聾学校 八チーム中四位に終わ
 高等部二年の越前由喜 君(西郷村出身)は聴
 覚障害者向けのバスケ
 ットボール「デフバス
 ケットボール」日本代
 表に選ばれ、十月三日
 から十日まで台湾で行
 われた二〇一八年のデ
 フリンピック(聴覚障
 害者の五輪)アジア予
 選に出場した。結果は
 語った。

デフバスケット日本代表 “五輪” アジア予選

越前君(県立聾学校高等部出身) 計28得点



香港戦でシュートを放つ越前君(白)(日本デフバスケットボール協会提供)

落ち着いてプレーできた

大会の感想は。「出場権が取れず、残念だったが、アジア四強に入ったことは価値がある。重圧のしめる中だったが、落ち着いてプレーでき、精神面で成長した」

「七日の香港戦では状況判断や、スピードを生かしたプレーを磨きたい。味わった悔しさやプレイングを使ったプレーが効いた。合宿で磨いた連携も機能し大きな相手も二人で止めるなどディフェンスも上出来だった」

「今後の抱負は。二〇一九年にリトアニアで開かれる世界選手権が目標。練習を重ねて代表のエースとしてチームを引っ張れる存在になりたい」

※ デフバスケットボール「デフ(Deaf)」とは「耳が不自由な」という意味。ルールは通常のバスケットボールとほぼ同じ。選手はジェスチャーやアイコンタクトなどで意思の疎通を図る。日本には約15のクラブチームがあり、日本デフバスケットボール協会の日本デフバスケットボール選手権大会(ミミリーグ)などで競っている。